

Annual Report 2025

令和7年度

独立行政法人福祉医療機構社会福祉復興助成事業 報告書
NPO事業年次 報告書



Our Goal

いつでも だれもが **ほっ** とできる 温かい **居場所** を作り、

すべての **母親** が **産んでよかった** と思える

地域社会 になるように





HOPPE

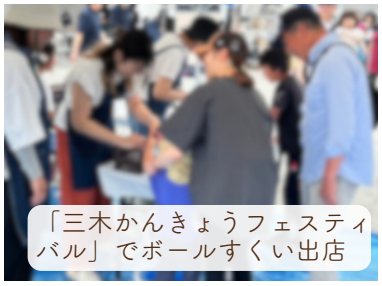
Organization history

団体の沿革

- 2016 任意団体「子育て交流の広場ほっぺ」立ち上げ
  三木市内2拠点にて活動を開始する。
- 2018 年間利用者数のべ8000人突破
  ほっぺのわくわくカーニバル開催 （第１回/第２回）
  北播磨地域づくり活動応援事業
  第１回/２回あわせて来場者数約1000人を記録。
- 2019 NPO法人化
  ほっぺのわくわくカーニバル開催 （第3回）
  北播磨地域づくり活動応援事業。来場者数約700人を記録。
- 2020 WAM助成（社会福祉振興助成事業）受託
  オンラインひろば導入 （神戸新聞掲載）
  コロナ禍でオンライン「つながるひろば」を開催。
- 2021 認可外保育施設「huggyしろくまRoom」を開設
- 2022 小学生以上向け「huggy for student」を開設
  不登校支援相談、自宅学習サポート等を開始。
- 2023 hoppe「親子のibasho」開設（コーベヤスポーツ3F）
  公共施設の貸室で行っていた居場所事業を商業ビルの３Fへ移転。
- 2025

Apr. WAM助成（社会福祉振興助成事業）受託

Jun. 三木かんきょうフェスティバル出店協力


「三木かんきょうフェスティバル」でボールすくい出店

Jul. しろくまRoom・あそびLaboサマースクール開催
小学生向け「夏休みこどもカレッジ」開催

新規事業として「就学児の学校生活・学習サポートプログラム」を開始した。夏休み期間中には外部生も気軽に参加できるイベントとして、三木市教育委員会の後援を受け「夏休みこどもカレッジ」を開催した。

木工教室、ドリームマップ作り、「習慣マスターになろう」、自分のトリセツ作りの全4プログラムを実施した。

開催回数 4回 参加数 のべ 46 名


「夏休みこどもカレッジ」でスマートボール作り

Nov. こどもミニえんにち（青山公民館文化祭）

Mar. 「みんなであそぼう！プレイパーク」開催

プレイパークを開催し、遊びや工作の素材をコーナーごとに配置することで、こどもたちの創造力を引き出す場づくりを行った。0歳から中学生まで幅広い年齢のこどもたちが参加し、それぞれが主体的に遊びを楽しむ姿が見られた。


「あそびの工房 もくもく屋」田川雅規さんによるプレイパークin青山公民館



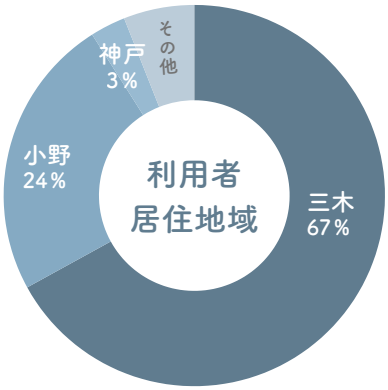
Play space 親子のための居場所づくり

hoppe「親子のibasho」兵庫県三木市末広２丁目４－８

三木市内にて親子が自由に来所して遊べる居場所づくりを行った。

開催日数 年間 157 日　**利用料** 1日 500 円/family

自由来所型の居場所づくりでは、利用者は主に0～1歳児の親子が中心で、昨年度より低年齢化の傾向が見られた。来所はイベント実施日に集中し、通常日の利用は少数にとどまっている。利用のきっかけはSNSや口コミが多く、市外からの来所も見られた。家庭内での遊びに限界を感じ、居場所を求めて来所する親子も多く、保護者同士やスタッフとの交流の場として機能している。なお、無料開放日は年間9回実施し、延べ61名の利用があった。



利用者数 のべ人数　514名（こども）　798名（おとな）　合計1312名

Event 親子向け子育てイベント



三木市内において、親子で楽しめるイベントや母親のリフレッシュを目的とした企画を実施した。中でもハイハイレースは人気が高く、SNSをきっかけに市外からの参加も多く見られた。また、子連れでは利用しにくい出張型サービスを受けられる企画も好評であった。イベント後に居場所の利用につながるケースやリピーターも多く、継続的な取り組みとして有効であると考えられる。

開催回数 71 回　**参加数** のべ 275 家族



Child care 託児・保育園・預かりレッスン

乳幼児を抱える親が「ほっ」と安心できる子育てサポートとして、託児や認可外保育施設の運営、預かり型レッスンなどを実施した。こどもへの支援に加え、保護者に対する心理的なサポートもあわせて行った。また、今年度は小学生向けクラスの充実にも取り組んだ。

託児・一時預かり

保護者の通院や買い物、就労等の理由による利用が見られ、特に0歳児は1～2時間程度の短時間利用が中心であった。市内において託児の受け皿が限られていることから利用数は多くないものの、一定のニーズがあることがうかがえた。

利用時間 135 時間

認可外保育園 しろくまRoom

モンテッソーリ教育を軸とした保育を実施し、週1～3回の登園が選べる柔軟な利用形態を整えた。入園に関しては関心や問い合わせは見られるものの検討に時間を要する傾向があり、スポット利用では託児ニーズを中心に継続的な利用があった。こども一人ひとりに寄り添った保育を行い、安心して預けられる環境づくりに努めた。

登園日数 110 日　**スポット利用数** のべ 22 名

あそびLabo

2歳から小学生を対象に主体的に学ぶ力の育成に取り組み、特に小学生には学習計画のスケジュール管理を通して自己調整力の定着を図った。市外からの参加も増加し、学校へのいき渋りがあるこどもの居場所や非認知能力を育む場としての役割も見られた。夏休みなどの長期休業期間にはレッスン生向けの学習サポート企画を実施し好評を得ており、今後は外部生も対象としたプログラムの充実を図る。

開催日数 154 日(2～4時間)

参加数 のべ　316名（未就学児）　489名（就学児）　67名（サマースクール他）

今年度初の試みとしてオンライン保護者会を全3回実施し、延べ20名が参加するなど、保護者同士の交流機会も創出した。

子育て相談・不登校相談

相談支援においては、子育てや学校生活、学習に関する相談が寄せられ、不登校に関する相談も含め継続的なニーズが見られた。近年、子育てや教育に対する不安や悩みが多様化する中で、専門的な助言に加え、「まずは話を聞いてほしい」というニーズも多く、気軽に相談できる場の重要性が高まっている。予約による個別相談に加え、日常的な関わりの中での相談対応も行い、保護者が安心して思いを共有できる環境づくりに努めた。

相談件数 23 件 （その他居場所やイベントで随時）

子育て支援スタッフの育成

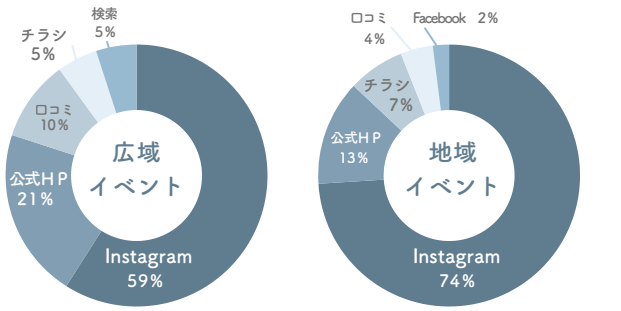
内部研修および、下記の研修に参加した。

- 認定小児スリープコンサルタント資格取得
- コープの共同購入センター見学
- あそびLabo講師養成講座

告知・集客方法の習得

2021年度より継続してオンラインマーケティング手法の習得に取り組んでいる。プレスリリース配信サービスを活用した広域的な情報発信と、Instagramによる地域への働きかけを並行して行い、効果的な広報活動を展開した。

広域から参加されるイベントでは、「Instagram」の他、「公式ページ」「検索」「オンライン記事」などから経由して申し込みされる方が多く、プレスリリースの効果がうかがえる。Instagramにおいては有料広告に大きく依存せず、日常的な発信や既存利用者からの口コミを通じて集客につなげており、費用対効果の高い広報運営が実現できている。



※2025年度申込予約286件より調査

今後は、各事業の発信力をさらに高めるとともに、ターゲットに応じた情報発信の精度向上を図り、より多くの必要とする家庭へ支援を届けていく。

Products 子育て関連商品　活用・販売

前年度に開発したアロマ関連商品、スケッチブック、習慣ノートの活用と普及に取り組んだ。アロマ関連商品は、居場所や認可外保育施設において日常的に取り入れることで認知を広げ、試飲の機会などを通して販売につなげた。スケッチブックはイベントでの活用、習慣ノートはあそびlaboプログラム内で活用・販売を行い、各事業と連動した展開を進めた。



※画像はイメージです

子育ての現状を伝える活動

広報・啓発活動として、FMラジオ番組「じんけん・こころの小窓」への出演、「ふるさとに生きるvol.35」および「隣保館だより」への掲載、人権フォーラムでの発表を行った。また、トライやる・ウィークの受け入れを実施し、地域との連携や理解促進に取り組んだ。

NPOとしての経済的な自立

事業の収支バランスや運営体制の見直しを進めている。移転を契機にサービス内容の再整理を行い、より効率的かつ持続可能な運営体制の構築を目指す。

運営体制

会議に関する事項

① NPO通常総会

2025年6月21日(土)10:00～　理事長宅
出席者10名(うち委任状出席者数7名)
事業報告/決算報告/事業計画/活動予算/役員の選任

② 理事会

2025年6月21日(土)11:00～　理事長宅
出席理事数5名(うち書面評決者2名)
理事長及び副理事長の選定について

③ 本部会議 オンライン

毎月第3火曜日 22時～　NPOの活動方針など
本部(理事長/事務局/部門長) 7名

運営体制

① 事務局

統括/事務スタッフ　6名

② 拠点運営

運営スタッフ　8名

	活動時間	活動人数
hoppe	802 時間	のべ 190 人
しろくまRoom	990 時間	のべ 220 人
あそびLabo	806 時間	のべ 351 人
合計	2598時間	のべ 761 人

③ 専門スタッフ

保育士/幼稚園教諭	6名
兵庫県子育て支援員	2名
心理等相談員	2名
子育てコーディネーター	1名
地域子育て支援士2種	5名
看護師	1名

(運営スタッフと重複あり)

④ 会員

正会員	10名
賛助会員	個人 2名

HOPPE
特定非営利活動法人 ほっぺ
https://hoppe-npo.com